

平成27年度協働事業として選定された事業の評価

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態	事業費(千円)	事業実施に向けて												事業実施段階			事業を振り返って			備考		
						協働開始の時期	協働への呼びかけ	協働相手選定の理由は明確か	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手との関係は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫			
												できたか	できなかった	どちらかといえばできなかった	どちらかといえばできた	十分に話し合い役割分担を明確にしたか	進捗状況や事業に関する情報を共有できたか	進捗状況や修正したか	取ったコミュニケーションを	情報をお互いにやりやすくと公開したか	お互いの信頼関係を築けたか	課題と改善策を話し合ったか	事業の目的・目標を達成できたか		課題と改善策を話し合ったか	
1	議会事務局	声の市議会だより作成委託	4月～2月	委	69	音訳ボランティアグループ 福生いとでんわ	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	CD作成枚数 13枚
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	
2	総務課	平和のつどい(平和祈念事業)	8月	実	202	平和のつどい企画委員会	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	講演会223人参加
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.2	
3	安全安心 まちづくり課	自主防災組織の運営	4月～3月	補	5,791	自主防災組織	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4.8	H27総合防災訓練自主防災組織参加者 1,412名
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.9
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援			事業の概要	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8	H27総合防災訓練自主防災組織参加者 1,412名
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.9	自主防災リーダー講習会参加者 54名
4	安全安心 まちづくり課	避難誘導標識の設置と維持管理	4月～3月	委	0	NPO法人 都市環境標識協会	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	4.8	現在の市内設置数 6基	
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	4.8		
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	4.8		
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	4.8		
5	安全安心 まちづくり課	交通安全推進指導	4月～3月	委	7,884	福生市交通安全推進委員会、 町会・自治会	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	交通安全推進委員会委員 98名
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	交通安全講習会 2回実施
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	交通安全講習会 2回実施
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	交通安全講習会 2回実施
6	安全安心 まちづくり課	各種防犯活動	4月～3月	補	1,173	防犯連絡所防犯活動推進員、 女性防犯指導員	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	4	5	5	4	5	4	5	4	4	4	4	4.6	防犯講習会参加者 75名
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	4	5	5	4	5	4	5	4	4	4	4	4.6	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	4	5	5	4	5	4	5	4	4	4	4	4.6	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	4	5	5	4	5	4	5	4	4	4	4	4.6	
7	安全安心 まちづくり課	自主防犯パトロール	4月～3月	参	0	各町会・自治会	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	4	4	4	3	4	3	4	4	3	3	3	3.8	33町会・自治会のうち28団体実施
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	5	4	4	4	4	4	3	4	3	4	4	3	3	3	3.8	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	4	4	4	3	4	3	4	4	3	3	3	3.8	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	5	4	4	4	4	4	3	4	3	4	4	3	3	3	3.8	
8	安全安心 まちづくり課	こども110番の家	4月～3月	参	84	市民、市内事業所	行政評価	Y	Y	Y	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3.3	登録者 1,061件
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3.3	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	行政評価	Y	Y	Y	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3.3	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3.3	
9	シティセールス推 進課	消費者展・講演会・セミナー	4月～3月	実	121	消費者リーダー	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4.4	消費者セミナー 7回実施
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4.4	講座2回、消費者見学会1回、消費者展1回実施
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援			事業の概要	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4.4	
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4.4	
10	シティセールス推 進課	福生七夕まつり	8月	実	40,108	福生七夕まつり実行委員会	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	4.2	来場者数 356,500名
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	4.2	ボランティア参加者 約500人
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援			事業の概要	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	4.2	
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	4.2	
11	シティセールス推 進課	ふっさ桜まつり	3月～4月	実	6,588	ふっさ桜まつり実行委員会	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	4.8	来場者数 46,000名
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	5	4	4	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	4.8	実行委員会 3回実施
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援			事業の概要	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	4.8	
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援			事業の概要	協働相手評価	Y	Y	Y	5	4	4	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	4.8	

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 ・委=委託 ・共=共催 ・後=後援 ・実=実行委員会・協議会 ・参=市民参加・ボランティア ・情=情報提供・情報交換 ・補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考				
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	協働相手選定の理由は明確か	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	① できたか	② の役割を話し合ったか	③ 画対等な立場で協力したか	④ 尊重したか	⑤ 相互の自主性・自立性を	⑥ 十分に話し合い役割分担を明確	⑦ を共有できたか	⑧ 進捗状況や事業に関する情報	⑨ 進捗状況や修正したか	⑩ 取ったか	⑪ 常にコミュニケーションを	⑫ か情報をわかりやすく公開した		⑬ お互いの信頼関係を築けたか	⑭ たか	⑮ 課題と改善策を話し合ったか	平均点
12	ほたる祭	6月	補	4,009	熊川牛浜町会 ほたる祭実行委員会	企 行	行政評価	Y	Y	Y	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3.3	来場者数 35,000名			
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	毎年6月中旬に開催される「ほたる祭」を観光名所として広くPRし、地域振興を図るため、観光事業補助金を交付し支援を行った。										課題												
13	剪定枝等破砕機管理委託	4月~3月	委	20	グリーンクラブ福生	企 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	使用実績 3回			
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	剪定枝等破砕機の貸出し、整備、保守点検等を委託し、市内農業者の農業活動に役立てる。										課題	破砕機の老朽化											
14	市民農園管理	4月~3月	共	511	市民農園使用者協会	実 行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	3	3	4	4	4	4	5	3	4	4	3.8	8箇所 551区画 521名利用				
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	市内8箇所の市民農園を、2年間を期間として貸出し、運営を使用者の団体である市民農園使用者協会が行う。										課題	肥料の臭気、雑草繁茂及び違法駐車之苦情への対応。											
15	市民エキストラ登録制度	4月~3月	参	0	市民	実 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	市民エキストラ登録人数 138名				
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	市民エキストラとして事前登録してもらい、市内で行われるロケ撮影に市民ボランティアとして参加してもらった。										課題	撮影参加実績 38件											
16	廃棄物減量等の推進	4月~3月	実	430	廃棄物減量等推進員	実 行	行政評価	Y	N	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	廃棄物減量等推進員会議 2回開催				
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	廃棄物減量等推進員と協働して、廃棄物の減量を推進していく。										課題												
17	ふっさ花いっぱい運動委託	5月・11月	委・参	735	ふっさ花とみどりの会	実 行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	3	4	5	4	4	5	4	4	4	4.1	会議8回実施 登録者 22名				
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	市内の街角、通学路、公園、広場等に、花の苗の植栽を行い、緑化と美化を進める配布型花いっぱい運動を実施した。また、多摩川中央公園のコスモス畑をフラワーゾーンとして、その管理運営を市民との協働で実施した。										課題	会員の高齢化による作業効率の低下が心配なため、若い会員の加入が望まれる。事務局の負担が大きい。市民の協力が得られるよう活動の積極的なPRが必要。											
18	福生スクラム・マイナス50%事業	4月~3月	実	0	福生スクラム・マイナス50%協議会	企 行	行政評価	Y	Y	Y	4	3	3	4	3	3	4	3	4	4	4	3	3.5	緑のカーテン大作戦 講習会参加者 90名 コンテスト応募 12組 ゴーヤ苗配布 600名				
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	2030年までに、市内から排出される二酸化炭素を50%削減(2004年比)するという目標を達成するため、主に啓発事業を主催する。										課題	協議会のメンバーが多忙なため、日程の調整に苦慮している。											
19	かんきょう通信編集会議	4月~3月	参	0	かんきょう通信市民編集員	企 相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4.9	年2回発行 各29,400部					
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	市民に対し、環境に関する情報発信及びPRを行うため、市民独自で環境問題や市の施策を取材等して記事にまとめる。										課題	年齢層や性別に偏りがある。青年の参加が少ない。わかりやすい内容、表現、レイアウトを心がける。											
20	環境フェスティバル委託	11月~7月	委	1,500	公募市民による団体	企 行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8	出店団体数 41団体 来場者数 5,100名				
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	環境月間の6月に多摩川中央公園を会場に、環境意識の啓発、自然観察会等体験型プログラムを企画、運営して実施した。										課題	部会への参加団体が少なく、同じメンバーで内容の検討を行っている。											
21	水辺の楽校運営委託	4月~3月	委	1,400	福生水辺の楽校運営協議会	実 行	行政評価	Y	Y	Y	4	5	5	5	5	5	5	4	5	4	4	4.7	多摩川で遊ぼう 13回実施					
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	国土交通省の水辺の楽校プロジェクトに基づき、多摩川の水辺で子どもたちのための自然体験の場、遊び場を作る。										課題	事業をサポートするリーダーやスタッフが少ない。リーダーやスタッフの育成が必要である。											
22	市民環境大学運営委託	4月~3月	委	702	NPO法人自然環境アカデミー	企 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	4.9	6回実施				
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	市民が環境問題を学習する機会として実施。毎年テーマを決める。										課題	プログラム内容の検討											
23	環境学習教員研修	8月	委	51	NPO法人自然環境アカデミー	企 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	5	5	4.8	参加人数 新規採用教員対象 14名 2年目教員対象 9名				
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	新規教員及び2年目の教員を対象とした環境研修。福生の環境について学ぶことで、子どもたちへの環境学習を推進する。										課題	8月に実施するため、暑さ対策が必要											

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 ・委=委託 ・共=共催 ・後=後援 ・実=実行委員会・協議会 ・参=市民参加・ボランティア ・情=情報提供・情報交換 ・補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考	
						協働相手方	協働開始の時期	協働相手選定の理由は明確か	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	① できたか	② の役割を話し合ったか	③ 画対等な立場で進めたか	④ 尊重したか	⑤ 相互の自主性・自立性を	⑥ 十分に話し合い役割分担を明確	⑦ 進捗状況や事業に関する情報	⑧ 進捗修正したか	⑨ 取ったコミュニケーションを	⑩ か情報をわかりやすく公開した	⑪ お互いの信頼関係を築けたか	⑫ たか	⑬ 課題と改善策を話し合ったか		⑭ 平均点
24	環境	環境マネジメントシステム市民監査委員	8月～7月	参	605	市民ボランティア及び市内事業者	実 行	行政評価	Y	Y	Y	4	5	5	5	4	5	5	5	4	5	4	4	4.6	市民監査委員 9名
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	環境マネジメントシステム F-e の運用状況について、市民が直接各職場に立ち入って監査を実施する。		課題	監査員によってアドバイスの内容に差があった。好事例を発掘するための質問等の仕方が難しい。環境配慮への取り組みが市民に伝わっていない。																
25	環境	地域猫制度	4月～3月	参	559	福生地域ネコの会・福東野良ネコ対策委員会・西多摩猫の会	企 行	行政評価	Y	Y	Y	4	5	5	4	4	4	4	5	3	4	4	4	4.2	去勢・不妊手術実績 10地区 65頭
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	地域住民、ボランティア、行政の協働で、飼い主のいない猫対策を実施。		課題	制度について、地域住民の理解、協力、同意が得られにくかった。モデル地区の増加、会員やボランティア、サポーターの増員。																
26	環境	湧水調査	4月～3月	参	0	法政大学山崎ゼミナール	企 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	4	5	4.8	・市内湧水3地点及び多摩川 月1回 ・季節の変化を追うために5月・8月・12月・3月に湧水6地点と多摩川の調査実施。
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	福生に残された湧水を保全し活用するため、調査を行う。		課題																	
27	環境	カワラノギク保全活動	6月～10月	参	600	市民及び市内事業者	実 相	行政評価	Y	Y	Y	5	4	2	5	4	4	3	4	4	4	5	5	4.1	実生調査、除草作業等 5回実施。参加者 128名
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	多摩川の生育地において、市民・研究者・行政が一緒に取り組んでいる保全活動。		課題	参加者の増加。財源の確保。																
28	協働推進課	男女共同参画情報誌作成	4月～3月	委	1,204	市民編集員	実 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	4.9	3回発行 各回28,500部
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	男女共同参画情報誌「あなたとわたし」を市、市民編集員との協働により作成。		課題	原稿の確認などの情報共有が必要。編集員が少数のため一人の負担が多くなってしまふ。																
29	協働推進課	男女共同参画啓発資料作成	4月～3月	参	0	市民活動団体	実 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	成人式でのチラシ配布
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	アートDVを若い世代に理解してもらうため、市民活動団体との協働により、チラシを作成し、新成人への配布や公共施設で配布し啓発を図る。		課題																	
30	協働推進課	福東会館管理業務委託	4月～3月	委	3,219	福東町会	実 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	開館日数 年間306日 利用状況 1,330件 15,836人
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	地域会館として利用される福東会館の管理を地域の町会に委託した。		課題	老朽化による施設の不具合がでている。																
31	協働推進課	福東会館清掃委託	4月～3月	委	268	NPO法人 青少年自立援助センター	企 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	定期清掃 年12回(月1回) 窓ガラス清掃 年1回
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	地域会館として利用される福東会館の清掃管理をひきこりの青年を支援するNPO法人に委託した。		課題																	
32	協働推進課	市民活動推進事業委託	7月～3月	委	100	NPO法人 ヒューマンケア	企 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	4.9	年3回実施 参加者数 30名
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	市民活動団体を育成するため、柔軟な発想や豊富な経験にもとづく提案を求め、輝き市民サポートセンターで事業の企画・実施する事業を委託する。		課題	応募団体の確保																
33	協働推進課	地域コミュニティ活性化の推進	4月～3月	補	570	福生市町会長協議会	実 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4.8	会報「ちいき」発行 年2回 全戸配布 福祉まつり、ふれあいフェスティバル等イベントに参加	
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	町会長協議会と協働で、市民全体を対象に、町会・自治会加入促進運動やあいさつ運動を展開することにより、地域との連携を深め、地域コミュニティの活性化を図る。		課題	町会・自治会の加入促進活動(あいさつ運動等)が加入率の増加に結びつかない。																
34	障害福祉課	心身障害者一時保護施設運営費等補助金	4月～3月	補	825	福生市手をつなぐ親の会	実 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	4	5	4	4	4	4.6	宿泊者数等 140名
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	在宅の心身障害者の夜間における一時保護及び社会的自立に向けた訓練等の運営費の一部を補助することにより、心身障害者福祉の推進を図る。		課題																	

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 ・委=委託 ・共=共催 ・後=後援 ・実=実行委員会・協議会 ・参=市民参加・ボランティア ・情=情報提供・情報交換 ・補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考		
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	協働相手選定の理由は明確か	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	① できたか	② の役割を話し合ったか	③ 画対等な立場を進められたか	④ 相互の自主性・自立性を尊重したか	⑤ 十分に話し合い役割分担を明確にしたか	⑥ 進捗状況や事業に関する情報を共有できたか	⑦ 進捗修正をチャット・必要に応じて修正したか	⑧ 取ったコミュニケーション	⑨ か情報をわかりやすく公開したか	⑩ お互いの信頼関係を築けたか	⑪ たか事業の目的・目標を達成できたか	⑫ 課題と改善策を話し合ったか		平均点	
																										協働相手方
45	プレイパーク(冒険遊び場)を考える会	4月～3月	参	80	プレイパーク(冒険遊び場)を考える会	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.7	会員数14人 検討会13回実施
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	子どもたちが自由な発想で楽しく安全に遊べるプレイパークを創設するために、様々な観点から検討を行う。		課題	プレイパーク設置には組織強化(新会員の増員)が必要。市民参画による運営が必要であるため、市民主体への移行が望まれる。																	
46	赤ちゃんはじめての絵本事業	4月～3月	参	443	図書館ボランティア、図書館、健康課	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	絵本贈呈 442名
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	3～4か月児健康診査時の際、絵本を贈呈し地域のボランティアによる読み聞かせを行う。		課題	3種類から1つを選択してもらい贈呈しているが、人気のあるものとうそでないものがある。																	
47	児童館等施設指定管理委託事業	4月～3月	委	96,328	NPO法人ワーカーズコープ	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	児童館利用者数 武蔵野台児童館33,535名、田園児童館24,225名 熊川児童館23,566名	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	遊びなどを通して仲間づくりや活動、子育て拠点の場として、幼児の遊びや母親等に交流の場を提供する。中・高校生の活動の支援等、居場所づくりの取組み		課題	児童館利用者の減少 災害時等における地域、保護者との連携づくり																	
48	学童クラブ事業	4月～3月	委	34,061	NPO法人ワーカーズコープ	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	登録児童数 529名 育成日数 294日	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	保護者の就労等で放課後、家庭で適切な保育を受けられない小学生を対象に、遊びや生活の場を提供する。		課題	放課後子ども教室(ふっさっ子の広場)との連携を検討する必要がある。																	
49	保育団体連絡会の開催	4月～3月	共	0	社会福祉協議会、保育園、幼稚園、子育てサークル、子育てボランティア団体、主任児童委員	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4.8	定例会1回実施		
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	地域組織化事業の一環として、各団体の情報交換や支援方法の検討を定例会で行う。		課題	今後の運営方法の検討 多くの要望に応えられるようにするため、提供会員増が必要																	
50	ファミリー・サポート・センター事業	4月～3月	参	2,618	社会福祉協議会、市民	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	4	5	5	5	4	4	4	4	4.6	依頼会員 122名、提供会員 57名 両方会員3名、活動実績 1,074回			
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	地域において育児の支援をしてほしい方(依頼会員)と、育児の援助をしたい方(提供会員)が会員となり、地域の中で助け合いながら子育て(育児に関する相互援助活動)をする会員組織。ファミリー・サポート・センターには相互援助活動の調整をするアドバイザーを配置している。		課題	市民のニーズに応えられるように提供会員を増やすこと。																	
51	まちづくり計画課	4月～3月	共	0	まちづくり景観推進連絡会	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	推進連絡会 毎月1回開催 景観フォーラム開催 参加者38名		
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	まちづくり景観推進連絡会と市が協働して、福生市全体の景観まちづくりを考え、歴史ある景観を保全する。		課題	会議の出席率があがらず、出席メンバーが固定されている。																	
52	緑と水の団体意見交換会	3月	情	0	緑と水に関する団体	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	開催日 平成28年3月24(木) 参加者 19名		
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	緑と水に関する団体による「緑と水の団体意見交換会」を行う場を設け、福生市の緑と水の質を高めていくために、意見交換を行う。		課題	会議の出席率があがらず、出席メンバーが固定されている。																	
53	違反広告物撤去	4月～3月	参	0	市民及び市民活動団体	行政評価	Y	Y	Y	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.1	登録者数 17団体 114名 撤去枚数403枚		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	道路上の屋外違反広告物の撤去作業を、市民と市が協働で活動することにより、市道の適正な管理に努めている。		課題																		
54	道路美化ボランティア	4月～3月	参	0	市民及び市民活動団体	行政評価	Y	Y	Y	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.1	登録者数 18団体 373人のボランティア会員		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	道路への美観風致を維持し、歩行空間の確保及び良好な維持・向上を図るため、市民と市が協働で活動し、市道の適正な管理に努める。		課題																		
55	萌芽会活動	4月～3月	参	5	福生萌芽会	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.9	10回開催 会員数 29名		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	福生市内の豊かな生態系の雑木林の再生を目指して、ワークショップ方式による市民参加型のボランティアにより、萌芽更新を実施する。		課題	萌芽会メンバーの高齢化、後継者の育成及び樹木の計画的な伐採。																	

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 ・委=委託 ・共=共催 ・後=後援 ・実=実行委員会・協議会 ・参=市民参加・ボランティア ・情=情報提供・情報交換 ・補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考	
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	協働相手選定の理由は明確か	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		平均点
												できたか	の役割を話し合ったか	画対等な立場で進めたか	尊重したか	十分に話し合い役割分担を明確にしたか	を共有できたか	進捗状況や事業に関する情報を共有できたか	進捗状況修正したか	取ったコミュニケーション	か情報をわかりやすく公開したか	お互いの信頼関係を築けたか	たか		
67	地域まなびあいボランティア	4月～3月	参	0	地域まなびあいボランティア登録された個人、団体、企業	実	行	行政評価	Y	Y	Y	4	3	3	4	4	3	3	3	3	4	4	3	3.4	登録者数 20名(団体含む)
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	地域で行事を計画している方や町会・自治会・子ども会等、地域で活動している団体に、教育委員会に登録している講師や指導員を派遣する。		課題	他のボランティアとの連携や情報共有が課題。ボランティア事業内容の新規開拓や、世代交代も必要と考える。																
68	ふっさ輝きフェスティバルの開催	5月	後	600	福生市青少年育成地区委員長会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	5	4	4	5	5	5	5	5	5	4.7	理事会4回 全体会5回、関係者参加者数 前日準備50名、当日400名
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	青少年の健全育成、家庭の日の推進拡大を目的とし、多摩川中央公園にてイベントを開催する。		課題	金券販売と商品提供バランスを考えないと商品不足や未交換金券が発生する。																
69	軽スポーツ&とん汁会の開催	9月～11月	後	200	福生市青少年育成地区委員長会	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	5	4	5	5	5	5	5	5	5	4.8	理事会6回 全体会6回 関係者参加者数 前日準備30人 当日30人 雨天のため中止した。
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	青少年の健全育成、家庭の日の推進拡大を目的とし、11月の第3日曜日に多摩川中央公園にてイベントを開催する。		課題	中止の場合の連絡方法等の事前打合せが不十分であった。																
70	生涯学習推進課 青少年海外派遣事業派遣生事前研修	7月	参	0	福生市地域まなびあいボランティア	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	練習3回(1回3時間) 海外派遣生12人
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	海外派遣事業による派遣先での、相互の文化交流の一環として、日本の文化紹介のために踊りを披露する。そのための練習を行うにあたり指導いただく。		課題	派遣生の中でも得意・不得意があり、踊りをうまく踊れない人が出てしまう。																
71	学校支援地域組織事業	4月～3月	参	2,514	学校支援サポーター	実	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8	学校支援サポーター数 1,795名 活動時間数 2,052時間
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	各学校に学校支援コーディネーターを配置し、学校と支援者である学校支援サポーターとの連絡調整をして、学校の教育的ニーズと地域の方をつなぎ合わせコーディネートしていく。		課題	事業への理解が進みつつあるが、さらに学校や地域に学校支援地域組織事業の理解が得られるよう周知を続ける。																
72	文化財保護思想の普及	4月～3月	参	0	市民	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	4	3	3	4	3	3	5	4	5	5	4	4.0	年間12回実施 約200人参加 登録者1名
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	郷土資料室における子ども向け体験学習。市内の小学生に地域の歴史や昔の遊びなどを伝える。		課題																	
73	市民総合体育大会開催	5月～2月	委	1,723	特定非営利活動団体 福生市体育協会	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	実施競技 29種目 参加者数 6,176名
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	市民総合体育大会開催に係る事務及び各種競技大会の運営全般を実施する。		課題																	
74	芝生管理業務	4月～3月	参	0	南公園グランド使用団体	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	南公園グランド内の芝生を使用者からの申し出により、使用者自らが芝刈りを行う。		課題																	
75	スポーツ推進課 ウォーキング事業	4月～3月	参	60	ふっさウォーキングタートルズ	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	年1回実施(新春のみ実施、春・秋は雨天中止) 参加者 61名
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	春・秋・新春ウォーキングの企画立案並びに実施・運営を市内ウォーキングサークル「ふっさウォーキングタートルズ」との協働により実施する。		課題																	
76	中央体育館運営委託	4月～3月	委	33,027	特定非営利活動団体 福生市体育協会	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	中央体育館における受付業務、館内巡回、事業等、管理運営を委託する。		課題																	
77	各種大会派遣	4月～3月	委	696	特定非営利活動団体 福生市体育協会	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	4大会25種目 411名派遣
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	都民体育大会等への選手派遣及び事務全般を委託する。		課題																	

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 ・委=委託 ・共=共催 ・後=後援 ・実=実行委員会・協議会 ・参=市民参加・ボランティア ・情=情報提供・情報交換 ・補=補助	事業費(千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考						
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	協働相手選定の理由は明確か	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	① できたか	② の役割を話し合ったか	③ 画対等な立場を進めたか	④ 尊重したか	⑤ 相互の自主性・自立性を	⑥ 十分に話し合い役割分担を明確	⑦ 進捗状況や事業に関する情報	⑧ 進捗修正したか	⑨ 取ったコミュニケーションを	⑩ 情報をわかりやすく公開した	⑪ お互いの信頼関係を築けたか	⑫ 課題と改善策を話し合ったか		平均点					
																										行政評価	Y	Y	Y	5
78	スポーツ推進課	福東少年野球場トイレ清掃	4月～1月	参	0	福東少年野球場利用団体	企相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0			
協働理由		市民団体の特性を活かす	事業の概要		福東第一・第二少年野球場に併設しているトイレを利用団体の申し入れにより、使用者自らが清掃を行う。	課題																								
79		ジュニアスポーツ体験・育成事業	4月～3月	委	2,003	特定非営利活動団体 福生市体育協会	企相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	各教室126回実施		
協働理由		市民団体の特性を活かす	事業の概要		就学前児童及び小学生を対象に様々なスポーツの体験を通じ、基礎運動能力の育成及びスポーツを好きになる子どもの育成を目的に教室を開催する。	課題																								
80		生活習慣病予防事業	4月～3月	委	1,157	特定非営利活動団体 福生市体育協会	企相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	各教室64回開催			
協働理由		市民団体の特性を活かす	事業の概要		ウォーキング、筋カトレニングなどの運動を通じ、自らが予防対策を講じられるようにすることを目的に年代別健康体力づくり教室を実施する。	課題																								
81	公民館	本館利用者研修会	8月～3月	共	10	公民館本館利用者連絡会	企行相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4.8	ワークショップ 参加者 35名	
協働理由		市民団体の特性を活かす	事業の概要		公民館の利用者に対し、社会教育や公民館についての理解を深めるため、研修会を実施する。	課題																								
82		本館利用者連絡会	4月～2月	参	0	本館利用者連絡会	企相	行政評価	Y	N	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4.8	年6回実施 参加者数 215名	
協働理由		市民団体の特性を活かす	事業の概要		公民館本館を活動の場として利用する団体が、相互連絡や情報交換を通じて公民館活動をより円滑にするとともに、より良い活動の場とする。	課題																								
83		市民文化教室	7月～12月	共	210	福生市文化協会	企行相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4.7	全7コース 参加者数 638名	
協働理由		市民団体の特性を活かす	事業の概要		初心者を対象に市民文化教室を開催し、日本の伝統文化、伝統芸能にふれ、理解を深めていく。	課題																								
84		夏休み自然体験教室	7月～8月	共・実	369	NPO法人自然環境アカデミー	企行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.9	事前学習、キャンプ、ふりかえり等 全9回 参加者数 16名	
協働理由		市民団体の特性を活かす	事業の概要		子ども達の次世代を担うリーダーとしての資質や能力の育成のために、登山体験のプログラムを中心に、参加者の耐性、判断力、協調性等を培うことを目的に実施する。	課題																								
85		公民館のつどい	11月	実	20	公民館のつどい実行委員会	企行相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	準備・実行委員会 8回 参加者数 137名
協働理由		市民団体の特性を活かす	事業の概要		①出会い、知り合い、交流していくために、各分野を越えた交流の場にしていきたい②公民館で活動することの意味を考えていきたい③活動し、交流しあう中で、生活や地域の課題を考えていきたい④つどいが、ひとつのきっかけとなって、後に横につながりあえる場を持ち続けていきたい。以上4つの趣旨のもと、3館合同で実施。	課題																								
86	本館まつり	7月	実	0	本館まつり実行委員会	企行相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.5	来場者数 3,170名		
協働理由	広く市民相互の支え合いを支援	事業の概要		公民館が事務局となり、日頃の公民館活動の発表やサークル間の交流を目標に本館まつりを実施。	課題																									
87	市民音楽祭	4月～6月	共	844	福生市音楽愛好者連絡会	企相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8	実行委員会 4回実施 来場者数 810人		
協働理由	市民団体の特性を生かす	事業の概要		福生市音楽愛好者連絡会と公民館が共催で市民音楽祭を実施。	課題																									
88	市民文化祭の運営	10月～11月	共・実	159	福生市文化協会	企行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.9	参加団体数 238件 来場者数 17,100名		
協働理由	市民団体の特性を生かす	事業の概要		市内で行われている文化活動の成果を発表する機会を提供し、市民文化の向上と、潤いのある市民生活の実現に寄与する。	課題																									

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 ・委=委託 ・共=共催 ・後=後援 ・実=実行委員会・協議会 ・参=市民参加・ボランティア ・情=情報提供・情報交換 ・補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考	
						協働開始の時期	協働への呼びかけ	協働相手選定の理由は明確か	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	① できたか	② 役割を話し合ったか	③ 対等な立場を進めたか	④ 相互の自主性・自立性を尊重したか	⑤ 十分に話し合い役割分担を明確にしたか	⑥ 進捗状況や事業に関する情報を共有できたか	⑦ 進捗状況を確認したか	⑧ 取ったコミュニケーション	⑨ か情報のやり取りが公開されたか	⑩ お互いの信頼関係を築けたか	⑪ た事業の目的・目標を達成できたか	⑫ 課題と改善策を話し合ったか	平均点		
																									協働相手方
89	公民館	男女共同参画フォーラム	1月	実	40	男女共同参画フォーラム実行委員会	企 相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	4	5	5	4	4	4	4.7	実行委員会 12回
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	男女共同参画の課題や問題点を探り、参加者とともに男女共同参画社会を考える機会とする。		課題	職員の男女共同に関する理解度によって、かわり方に差が生じる。															フォーラム参加者 35名	
90	図書館	図書館おはなし会「ぶっくん」	6月	共	0	おはなしのもり	企 行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	2	4	4	4	3.8	全小学校で1回実施 参加者数 20名
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	子どもたちが本に親しみ、読書の普及を図るため市内ボランティアグループが小学校へ訪問し、1年生を対象に「お話し会」「お楽しみ会」をボランティアと協働で実施。		課題	各学校の日程が出てからボランティアの担当調整を行うため、日程が確定しないと調整ができない。																
91	図書館	主催事業(お話し会・お楽しみ会)	4月～3月	共	0	おはなしのもり、ポケット☆ポケット、おかし座、おはなしだいすきプラナリア	企 行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	4.3	おはなし会実施回数 89回
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	月1回開催している「小学生・乳幼児向けおはなし会」等をボランティアグループとの協働で実施している。		課題	参加者の定着を図る。																
92	図書館	図書の配架、館外美化	4月～3月	参	0	市民	実 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	4.9	【中央】書架整理 214回(29名) 花植え2回(3名)
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	市民の図書館を目指し、より開かれた図書館を実現するパートナーとして図書館業務の補助、館外美化活動を実施する。		課題	新たなボランティアのなり手を探す必要がある。本の配架について、ボランティアの方にわかりやすいような案内が必要である。																
93	図書館	ヤングアダルト図書会議(いろは新聞製作)	4月～3月	参	0	市内の中学生、高校生	企 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4.8	年2回発行 21名登録	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	市内の中学生、高校生ボランティアの編集により、PR新聞を発行し、市内の各図書館、各中学校、高校図書室等で配布する。		課題	参加者の確保及び定着																
94	図書館	子ども家庭支援センターでのおはなし会	4月～3月	共	0	おはなしボランティア「ポケット☆ポケット」	企 行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	3.8	月1回実施 参加者数177名
		協働理由	市民団体の特性を活かす。		事業の概要	親子のスキンシップのひとつとして絵本の素晴らしさを知ってもらうため、子ども家庭センターで絵本・紙芝居のよみかせや手遊びを行う。		課題	参加者の確保及び定着																